



角川書店  
隔月刊 CIEL 9月号  
BLOOD+ 夜行城市 第一夜  
如月弘鷹

BLOOD+













万が一、俺が死ぬことがあっても



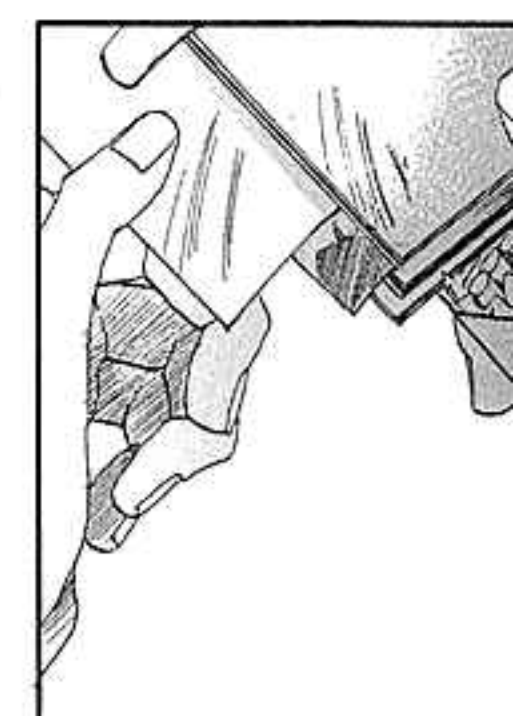
俺、従軍牧師になつたんだ  
今度、湾岸へ出立する  
だから



その事実をちゃんと受け入れてほしい



兄さん







この街

何



このさわがしい街に  
似あわない  
落ちついた音



なのこじか  
寂しそいな...



いつだって、  
人間を殺すのは  
同じ人間だ  
——そうで  
なきや...

.....  
吸血鬼なんて  
居るわけねえんだ



一体、誰を  
恨めばいいんだよ  
.....















そんな…!

西

冗談じゃないですよ  
今まで俺たちが  
どれだけ捜査を  
重ねたと…



今後は国際的な  
専門機関が  
全面的に調査を  
引き継ぐことになったの  
だよ

この件に関しては  
担当主任である  
君から皆にそう  
伝えてほしい



え…!?



—誰だよ—

西です

失礼します



西—無駄だ

もう決定された  
事だ



…ですが!



ただでさえ返還前で  
忙しいんだ  
これ以上、無駄な  
人手を割いても  
いられん

これは署長命令だ  
捜査は打ち切る



今、君達が追ってる  
例の失血死事件  
だがね—



いや、他にもない

…部長もお揃いで  
何か—



—ああ西君

いきなり呼び出して  
すまなかったな



捜査を  
打ち切る  
事になった









だからって、このまま何もせず見ない振りしろってのか!?



残念ながらこの事件は君たちが解決できるレベルの問題じゃない

現に君たちの捜査では手がかりすら掴めていないはずだ



関係ないだろ!? 俺たちの管轄で人が殺されてるんだぞ!!

関係ないわけあるかよ!!



それが賢明だ



死にたくなければな



以後はこちらの調査機関がこの件に関する全権を譲り受ける

君達には、もう関係ない



自己紹介が遅れたな ミスター・西

私の名前は「アイザック」



.....!



アンタだろ! 例の失血死事件を引き継いだとかいう派遣員は!

国際機関だから何だかしらねえが

人ん家の捜査権を横取りすんなら、もつと通す義理があるだろうがよ!



ああ

では君が署長の言っていた担当者という事か

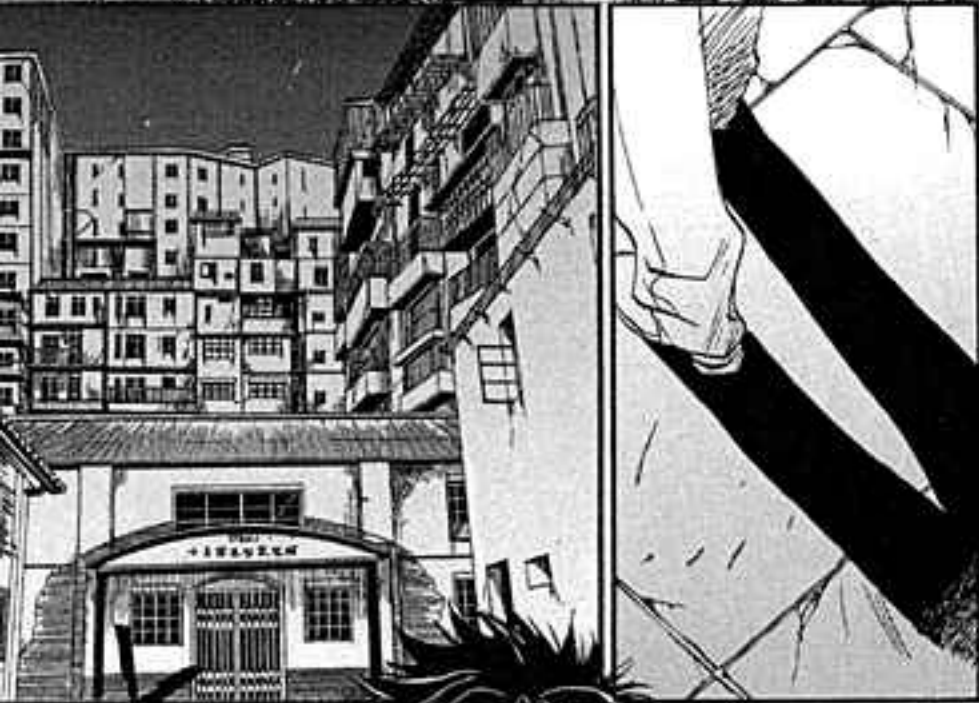








九龍城



オオオオ



ご苦労様でしたね

まだ何も  
感づいてない  
みたいで...

...あ、はい

警察の動きは

どうですか



これから  
頼みますよ



次は失敗しない  
ようにしなければ

計画を進めましょう

では









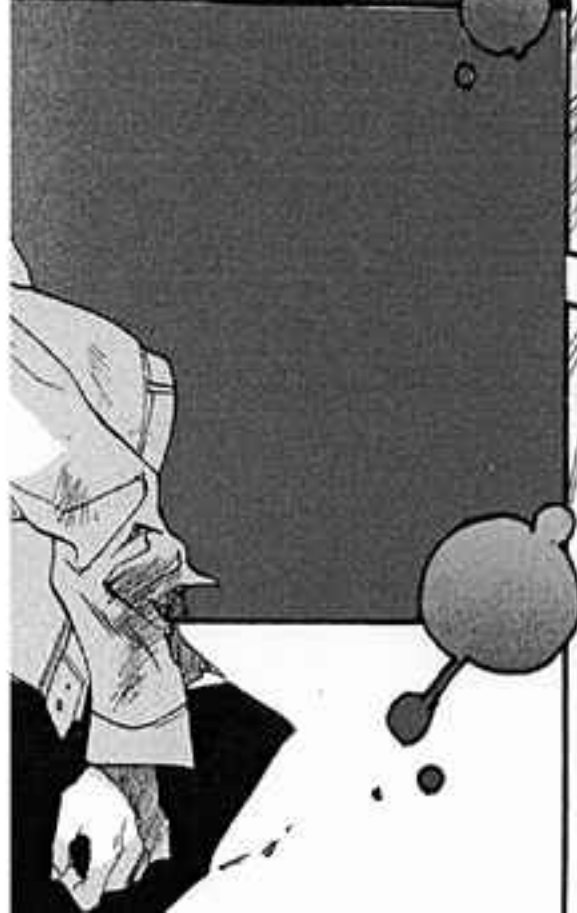
な

こ・なん  
れ・ん  
は・だ



カッ













角川書店  
隔月刊 CIEL 9月号  
BLOOD+ 夜行城市 第一夜  
如月弘鷹

END